



とらいあんぐる



2019 年 9 月

一音会ミュージックスクール発行

「達成感」

4日間の中で、1年分以上に匹敵するほど、ドキドキし、感動し、涙を流したような気がします。

夏の発表会の話です。

演奏を終えた生徒さんが退場する舞台袖で、全員の演奏をききました。

ハラハラすることもあれば、上達に驚くこともあれば、ほっとすることもあれば、その生徒さんの幼い日の像が重なって、その成長に胸がいっぱいになることもありました。

とにかく心が忙しい4日間でしたが、こんなに幸福な日々は他にありません。

演奏を終えた生徒さんの姿はさまざまでした。

「やったー」という高揚に、ガッツポーズをする子。終わった安堵で力が抜けて、その場に座り込んでしまう子。中には、思うように弾けなかった箇所が悔しく、涙してしまう子もいました。

さまざまではありましたが、どの子も、大きなことをやり遂げた人特有のすがすがしい表情をしていました。

悔しさを見せる子でさえ、「がんばっ

たからこれでいいんだ」と、どこかさっぱりした顔です。

そんな表情を間近で見ることができただけでも、大きな喜びでした。

生徒さんの表情を見ると、「ああ、この子は、これからもいろいろなことがんばっていくことだろう」と確信します。

私自身の子ども時代の発表会のことを冷静に思い返してみますと、発表会で完璧に弾けたことなんて、ほとんどなかったような気がします。実は一度もなかったかもしれません。

でも、弾き終わると、「私、すごいじゃん！」と、いつも思っていました。

「私、けっこうじょうずかも！」と、なぜかうぬぼれていましたし、その瞬間の高揚感で、何でもできる気になっていました。

そう思っていたのは、努力して、だんだん弾けるようになっていったプロセスがあったからです。毎日、練習する日々の中、自分の中での変化が自分

でも分かり、おもしろくなっていました。

そして、そんな日々の最後に、あのまばゆいスポットライトの下に立ったことも大きかったと思います。「なんか、すごいことになっている！」と興奮しました。

緊張でふるえる中、がんばって弾き通した時は、「私、がんばった！」と胸をはっていうことができました。

たくさんの拍手をもらい、「ああ、とうとうやり遂げたんだ！」という充足感で、身体中が熱くなりました。

この気持ちに名前をつけるなら、「達成感」でしょうか。



人が、さらにがんばろうとするために、もっとも必要なのは、「自分ができる！」という気持ちだと私は思っています。

そして、「自分ができる！」の気持ちを作るのは、「達成感」を経験することだと思っています。

「達成感」は、努力して何かを成し遂げた時に得られる「やったー！」という感情です。

身体の中からわきあがってくる、あの熱い歓喜です。

「うまくいった！」という喜びとは、ちょっと違います。

うまくいけばうれしいものですが、「達成感」はそれだけではないのです。がんばらないと「達成感」は得られません。逆に、結果が大成功とはいえなくとも、力いっぱいがんばって成し遂げた感覚があれば、「達成感」は得られます。

結果ではなく、自分の力を高めてきた努力の日々と、その場で力を尽くし

た実感が、「達成感」をうんでいるのだと思います。

発表会の4日間は、「ピアノっていいものだなあ」と、つくづく思った日々でもありました。

ピアノは、どんなに優れた技術を持った人であっても、ちゃんと練習を重ねないと、良い発表をすることができません。

「練習しなかったけれど、たまたまうまくいった」ということが絶対にありえない楽器なのです。とても平等で、正直な楽器です。

それは、先生たちも例外ではありません。

発表会までの期間、「ヘンデルはうす」は、連日、深夜おそくまで、あちこちの部屋から練習の音が響いていました。講師演奏の先生たちが毎日、練習していたのです。

生徒さんの発表会の前にも、等しく努力の日々があったはずです。

その努力をたたえる意味で、2年前

から金メダルを贈っています。

舞台に立った人で、努力しなかった人はいません。全員にメダルです。

そして、音楽は競争ではないので、全員が金メダルです。

今年の金メダルの彫刻は、女神の像です。

この女神は、ニケという名前の勝利の女神です。

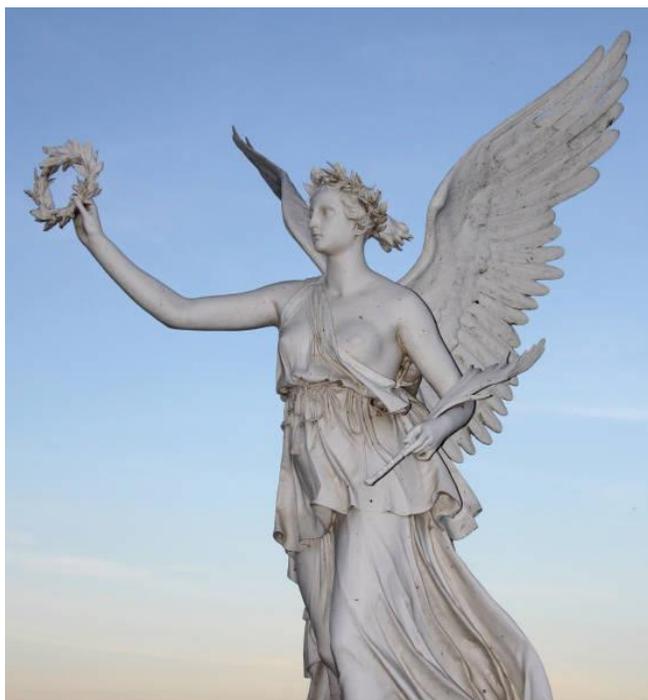
大きな翼を持ち、片手にシュロの冠を持っています。来年の東京オリンピックの金メダルにも、同じ女神ニケが彫られています。

ニケは戦争やスポーツだけでなく、演劇や音楽など芸術でも、大きなことを成し遂げた人に、勝利を意味する冠を授けるそうです。

ぜひおうちにかざって、見るたび、あの日の「達成感」を思い出してください。

「自分是可以る！」の感覚を、これからいろいろなことに発揮してください。

金メダルを首から下げていなくとも、心の奥に金色に輝くものが宿った夏であつたと信じます。（江口 彩子）



◆ピアノ発表会では、ご協力をありがとうございました

8月2日から4日間にわたっておこなわれた「ピアノ発表会」が、無事、終わりました。

比較的、過ごしやすかった7月とはうってかわって、厳しい暑さの4日間でしたが、大勢の方に足をお運びいただくことができました。大きな事故もなく、無事にすべての日程を終えることができましたのは、生徒さんやご家族のみなさまの、惜しみないご協力があったことでした。本当にありがとうございました。

今年は特に、グループ発表を大きく拡張しました。例年、一音会は、ピアノをおはじめになっていない小さな生徒さんを対象に「ひよこちゃん」のリトミック発表をおこなってきました。昨年は、「ひよこちゃん」に加え、それより年長の生徒さんに「きりんさん」のリトミック発表にご参加いただきました。

その際、出演された生徒さんやご家族からも、ごらんくださったお客さまからも、たくさんのご好評をいただきました。嬉しいことでした。そして、さらに嬉しかったことは、「きりんさん」より年長の生徒さんが「自分たちも参加してみたい！」と、声を上げてくださったことです。

今回、「ひよこちゃん」、「きりんさん」に加え、「リトミック・アドバンス」の発表ができた背景には、生徒さんの高いモチベーションがありました。そのことを何より嬉しく、何より誇りに思います。

正直にいってしまいますが、「リトミック・アドバンス」の生徒さんは年齢的に、ピアノ演奏でも大きな曲を弾く生徒さんが多く、ピアノ演奏に集中するために、リトミック発表を見合わせる方が多数なのではないか・・・と想像していました。ですが、ふたを開けてみれば、ほとんどの生徒さんが、「リトミック・アドバンス」に名乗りを上げてくださいました。意識の高さと余力に、感動しました。

今年は、「うたくらぶ」のみなさんにも、「ドレミのうた」でご出演いただきました。

よく響く「かつしかシンフォニーヒルズ」で、「うたくらぶ」のみなさんの歌声をき

いてみたい思いからでした。

月1回のレッスンで仕上げていくのは、たいへんだったと思いますが、発表当日は、声だけでなく心も1つとなり、素晴らしい舞台となりました。

印象深いのは、「うたくらぶ」のリハーサルの日のことです。「いらっしゃれる方はぜひ」とお声かけしていたところ、なんと参加予定の方が全員、お一人も欠けることなく、お集まりくださいました。カンカン照りの暑い日のことでした。またも、生徒さんご家族のみなさまの意識の高さを実感した瞬間です。

中には、ピアノ演奏とリトミック発表と「うたくらぶ」、3度の舞台を立派に果たされた生徒さんもいらっしゃいましたね。

みなさん、本当によくがんばってくださいました。夏休みが終わり、レッスンがすでにスタートしています。新たな目標に向けて、さらに前進してください。2020年1月、2月には、「ピアノ・トライ」をおこないます（次号で、くわしくお知らせします）。さらなる活躍を期待しています。



◆来年の発表会

来年は「オリンピック・イヤー」です。例年、8月頭に、一音会は発表会をおこなっていますが、来年のその時期は、東京オリンピックまっただなかであり、

なかでも最後のもっとも盛り上がると予想されている期間です。

開催時期に関しましては、何がベストか、ずっと考えておりました。

やはりオリンピック開催中は、交通規制以外にも予測外のことがおこりうる、と考えています。都内のイベントの中には、開催時期をずらしたり、開催そのものを取りやめたりするところもあるとききます。

一音会も、ご参加のみなさまの安全を第一に、開催時期を動かすことにいたしました。

来年度の発表会を以下のように開催したいと思っています。

日 時：2020年8月28日（金）・29日（土）・30日（日）

場 所：「けやきホール」（西武池袋線「清瀬」駅より徒歩4分）



←けやきホール

ステージ・客席

（定員:508名）

けやきホール外観→



8月末の発表会ですので、学校によっては、すでに新学期がスタートしつつある時期でもあります。なるべく平日にはみ出さず、コンパクトにおこないます。前日の8月27日(木)も会場をおさえておりますので、前日に準備を完了させ、28日(金)は、朝から開演できるようにする予定です。

例年と違うことが多く、みなさまにご面倒をおかけすることも多いと思います。想像しただけで心が苦しいですが、「オリンピックイヤー」限定ということで、どうかご理解ください。



◆「音楽の集い」を開きます

一音会では、文化の日を毎年、“音楽を愛する人が集う日”と決めています。今年も11月3日(日)に、「音楽の集い」を開きます。

「音楽の集い」は、おとなの方の発表会です。会場は「ひびきホール」です。時間等、詳細は、教室内のポスターをごらんください。

一音会でレッスンをお受けになっている方だけでなく、一音会にお通いの生徒さんのご家族の方も、ご出演可能です。基本的にはピアノの発表会ですが、歌や他の楽器でもご参加いただけます。もちろん、連弾、アンサンブル、合唱も、大歓迎です。伴奏者が必要であれば、スタッフが伴奏いたしますので、ご遠慮なく本部までご相談ください【本部：03-5966-7711（担当・谷口・森田）】。

演奏される方は参加費として、6600円(税込)をご負担いただきます。(DVD希望の場合は1100円、追加でご負担ください)。聴きにいらっしゃる方に関しては、入場無料です。お気軽に足をお運びください。



◆ 「ヘンデルはうす」を施錠します

「ヘンデルはうす」は、時間帯によっては人が少なく、「物騒である」というご意見をいただきました。

このご意見を受け、正面玄関を、常時、施錠させていただくことにしました。ご利

用の生徒さん、ご家族のみなさまには、たいへんご面倒をおかけしますが、防犯のため、ご協力をどうかよろしく願いいたします。

ご利用の方全員にカギをお渡しするのは不可能ですので、暗証番号を入力して、開けていただく方式にいたします。

まずは、「ヘンデルはうす」をお使いになる生徒さん全員に、施錠に関するお願いのお手紙をお渡ししたいと思っています。すでに、主担当から、お渡ししています。

確実に手紙が行き渡る11月1日より、施錠するルールに切り替えさせていただきます。くわしいルールは、そこに記載させていただいていますが、ご不明の点は、本部までお問い合わせください【本部：03-5966-7711（担当・伊藤・矢島）】。

この手紙には、暗証番号も記載されています。どこかに置き忘れたり、といったことがありませんよう、取り扱いには、十分、ご注意ください。

◆消費税について

みなさま、よくご存じの通り、10月から消費税が10%に引き上げられます。

一音会は、お月謝の値上げをおこないません。が、消費税を反映させざるを得ません。10月分のお月謝から、若干、金額が変わります。

10月分のお月謝のお引き落としは、9月27日（金）です。

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。